

NEWS

令和4年度 中部地域協議会 第2回全体会議

令和5年2月27日（月）午後3時から名古屋マリOTTアソシアホテル（名古屋市中村区）で中部地域協議会第2回全体会議が開催されました。

会議には（公社）全国産業資源循環連合会専務理事室石泰弘氏や中部四県（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）の協会の会長、副会長、理事等27名が参加しました。

会議に先立ち、開催県であり、中部地域協議会会長の永井良一氏から開会及び会長挨拶がありました。また、（公社）全国産業資源循環連合会専務理事の室石泰弘氏から来賓挨拶がありました。

永井会長からは、「トルコ・シリアでは大地震が発生してから27日で3週間が経過しますがこの間、数千回以上の余震が発生し、自宅に帰れず避難所に身を寄せる被災者も非常に多く、報道では死者は4万7千人以上に上り、行方不明者は依然と多く、犠牲者がさらに増えるおそれがあります。全産連では災害廃棄物委員会で自然災害が多発している状況を踏まえ、災害廃棄物処理や課題を基に災害発生時に被災地域等の協会が一層機動的に支援活動を行うことができるようにするために、平時から体制強化等について検討を進めています。今日は愛知県協会の理事で、全産連の災害廃棄物委員会の委員の山本理事に、その進捗状況についてご説明を頂こうと思っています。

また、医療廃棄物部会では、感染拡大により、感染性廃棄物の増大による保管上限の緩和・再委託の迅速化等について意見が重ねられ、環境省へ要望することとなり、その状況について静岡県協会の新井副会長様にご説明を頂こうと思っています。

さて、昨年11月18日には全産連女性部協議会が設立され、新たな一歩が踏み出されました。中部4県協会でも女性部が組織され、また、準備を進めておられ、各県協会の女性部の実情等についてご報告をして頂ければと思っています。

次に、連合会の最重要課題ですが、産業資源の循環的な利用を促進する上で、産業廃棄物処理業が処

理の「受け手」から資源等の「創り手」へと業界の発展に繋げるよう「産業資源の循環的な利用を促進するための産業廃棄物処理産業の振興に関する法律案」を策定し、同法案の制定を提唱しています。資源・エネルギーの創り手として、資源循環型社会及び脱炭素社会の実現に寄与するよう、各県協会と力を合わせまして、議員立法化への働きかけと、業界発展に努めてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

最後になりますが、本日の全体会議が、実りある会議となりますよう皆様の真摯なご議論を期待しまして、開会に当たりましたの私の挨拶と致します。」と開会の挨拶がありました。

室石専務理事からは、「初めての中部地域協議会全体会議への参席に当たり自己紹介をさせて頂きたい。昭和61年に旧厚生省に入庁以来、生活衛生局水道環境行政を始め、廃棄物行政、水・大気行政、地球温暖化対策、環境省福島地方環境事務所長、環境再生・資源循環局長を令和4年7月1日に勇退し、環境省参与を経たのち、10月12日付けで全産連の専務理事に着任した。全産連は正会員である各県協会が活動しやすいように運営することが使命であると考えているので、今後は振興法案の実現、脱炭素化への対応、新たな柱となる事業の創出など、連合会が抱かえる諸課題の解決に向けて尽力したい。」と挨拶がありました。



会議では永井会長を議長に選出し、配布資料をもとに議案・審議が行われました。

NEWS

- (1) 令和5年度中部地域協議会事業計画（案）について
- (2) 令和4年度中部地域協議会収支決算見込みについて
- (3) 令和5年度中部地域協議会収支予算（案）について
- (4) 令和5年度許可講習会試験日程（案）について
- (5) 令和5年度（公社）全国産業資源循環連合会会長表彰被表彰者推薦について
- (6) 収集運搬部会運営委員会委員の交代について
 - (1) から (4) 及び (6) については原案どおり承認され、(5) については、中部地域協議会推薦は、該当する県において推薦することで承認されました。また、各県協会推薦については、各県協会で期日までに全産連に提出するようお願いがありました。
- (7) 全産連各種運営委員会等の報告について
 - ①災害廃棄物委員会報告については委員の山本浩也氏（愛知県協会理事）から配布資料に基づき説明がありました。
 - ②医療廃棄物部会運営委員会報告については委員の新井康久氏（静岡県協会副会長）から配布資料に基づき説明がありました。
- (8) 全国産業資源循環連合会中部地域協議会における資料について

室石専務理事から、配布資料に基づき、連合会の令和5年度の事業計画（案）等について説明がありました。連合会の収支はmanifestoの値上げにより改善され、manifestoの頒布も値上げの駆け込み需要の反動で8月に落ち込んだが、それ以降、回復傾向にあり、令和5年1月には値上げ前の前年同月に戻る見込みであるとの説明がありました。

その後、（公社）全国産業資源循環連合会と各県協会との意見交換が行われ、各県協会の会員の連合会発行のmanifesto購入状況について意見交換を行いました。

その他で、令和4年11月18日に全産連女性部協議会が設立されたことから全産連の女性部協議会副会長の東久保真弓氏（愛知県協会の女性部会長）から女性部協議会と愛知県協会の女性部の近況について報告があり、また、各県協会の女性部の近況について情報交換を行った後、盛会のうちに会議は終了し、閉会しました。

<出席者>

- | | | |
|-----------------|-------------|-------|
| （公社）全国産業資源循環連合会 | 専務理事 | 室石 泰弘 |
| | 中部地域協議会会長兼 | |
| （一社）愛知県産業資源循環協会 | 会 長 | 永井 良一 |
| | 副 会 長 | 中野 兼司 |
| | 副 会 長 | 新美 三良 |
| | 専務理事 | 堀部 隆司 |
| | 常務理事 | 伊藤 泰雄 |
| | 常務理事 | 相木 徹 |
| | 理 事 | 金田 英和 |
| | 理 事 | 山本 浩也 |
| | 理 事 | 東久保真弓 |
| | 事務局長 | 小坂 元信 |
| （一社）岐阜県産業環境保全協会 | 会 長 | 澤田 裕二 |
| | 副 会 長 | 丹羽 武 |
| | 副 会 長 | 石原 幸喜 |
| | 専務理事 | 大坪 敬明 |
| （公社）静岡県産業廃棄物協会 | 会 長 | 岩間 雄一 |
| | 副 会 長 | 新井 康久 |
| | 副 会 長 | 渡辺 和良 |
| | 副 会 長 | 海野ひろみ |
| | 専務理事 | 松浦 敏明 |
| | 中部地域協議会副会長兼 | |
| （一社）三重県産業廃棄物協会 | 会 長 | 井上 吉一 |
| | 副 会 長 | 宮崎 正次 |
| | 副 会 長 | 伊藤 靖則 |
| | 副 会 長 | 筒井 照雄 |
| | 専務理事 | 和田 一人 |
| | 理 事 | 光友 裕昭 |
| | 理 事 | 小川喜美子 |